

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月04日

計画の名称	福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	岐阜県											
計画の目標	岐阜県と福井県を結ぶ旧街道の「美濃街道」および現在整備中の中部縦貫自動車道等の周辺には多くの歴史的遺産を有しているほか、豊かな自然景観を生かした観光施設が多数存在している。中部北陸圏の知名度向上を図る「昇龍道プロジェクト」とあわせて、これらの旧街道等から各観光拠点のアクセス強化を図り、広域的な観光活性化に向けた基盤を整備することにより、岐阜県、福井県における観光入込客数の増加など地域の活性化を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,050	A	3,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27)	中間目標値 (H31)	最終目標値 (H33)
1	【岐阜県・福井県 共通目標】 観光入込客数1,048万人(H27)から1,273万人(H31)に増加 (225万人(21%)の増加) 【福井県・岐阜県 共通目標】 観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H27の年間観光入込客数) / (H27年間観光入込客数)	1048万人	1202万人	1273万人
2	【岐阜県 単独目標】 岐阜県中濃地域への観光入込客数を907.6万人(H27)から1120.9万人(H33)に増加 (213.3万人(23%)の増加) 【岐阜県 単独目標】 岐阜県中濃地域への観光入込客数 (観光客入込数の増加) = (評価時点の観光客入込数) - (H27の観光客入込数)	908万人	1054万人	1121万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)256号 三庫工区	現道拡幅 L=0.66km	郡上市						200	-	
		3-A1-1																	
	A11-002	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)256号 尾倉工区	現道拡幅 L=0.88km	関市						300	-	
		3-A1-2																	
	A11-003	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)248号 可児バイパス工区	現道拡幅 L=1.36km	可児市						500	-	
		3-A1-3																	
	A11-004	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府県道	改築	(主)大和美並線 八幡(勝更)工区	現道拡幅 L=0.54km	郡上市						850	-	
		3-A1-4																	
	A11-005	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府県道	改築	(主)大和美並線 美並(山田)工区	現道拡幅 L=0.46km	郡上市						200	-	
		3-A1-5																	
	A11-006	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府県道	改築	(主)可児金山線 比久見工区	バイパス L=1.60km	川辺町						400	-	
		3-A1-6																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(一) 惣則高鷲線 鷲見 工区	現道拡幅 L=0.41m	郡上市						200		-	
		3-A1-7																		
	A11-008	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(一) 上野関線 半道工 区	現道拡幅 L=1.60km	美濃市							100		-
		3-A1-8																		
	A11-009	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(一) 白山美濃線 白山 工区	現道拡幅 L=0.56km	郡上市							300		-
		3-A1-9																		
												小計						3,050		
												合計						3,050		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜県事業評価監視委員会にて意見を聴取し、評価を実施	令和6年2月5日
	公表の方法
	岐阜県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中、優先順位をつけ、道路整備を行った結果、令和4年末には観光客数が増加するなど、観光振興による広域的な地域活性化に寄与したと考えられる。 ・（国）256号 三倉工区をはじめ7路線（9か所）の道路整備を推進し、（国）248号 可児バイパス工区が令和5年2月に供用開始したことにより、拠点施設と高速IC間のアクセス性が向上し、広域的な観光活性化に寄与したと考えられる。 【本事業完成で発現される効果】 ・A11-003：（国）248号 可児バイパス工区の整備により、拠点施設である可児市文化創造センターと美濃加茂ICとのアクセス時間が3分短縮
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・A11-001：（国）256号 三倉工区の整備により、拠点施設である道の駅和良と郡上八幡ICまでのすれ違い困難箇所が解消 ・A11-005：（主）大和美並線 美並（山田）工区の整備により、拠点施設である美南ふるさと館と郡上旧庁舎記念館までのすれ違い困難箇所が解消
特記事項（今後の方針等）	
<p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未完成の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。 <p>（未完成事業）：A11-002、A11-004、A11-006、A11-007、A11-008、A11-009</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	福井県と岐阜県内の観光入込客数 1,048万人（H27）から1,273万人（H33）に増加（225万人（21%）の増加）		
	最終目標値	1273万人	福井県嶺北東部地域と岐阜県中濃地域における観光入込客数は、中間評価時点では、中間目標値（1,202万人）を上回ったが（R1実績：1,243万人）、最終目標値は達成できなかった。理由としては、本計画で計画していた各事業が完成できなかったことや、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。【福井県】R4実績値：124万人（参考 R1実績値：161万人）
	最終実績値	1122万人	
2	岐阜県内の観光入込客数 908万人（H27）から1,1121万人（H33）に増加（213万人（23%）の増加）		
	最終目標値	1121万人	岐阜県中濃地域における観光入込客数は、中間評価時点では、中間目標値（1,054万人）を上回ったが（R1実績：1,082万人）、最終目標値は達成できなかった。理由としては、本計画で計画していた各事業が完成できなかったことや、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。【代表的な拠点施設】道の駅和良 H27 15万人 R4 15万人（参考：R1 16万人）
	最終実績値	998万人	